

2020年12月吉日

香芝市PTA会員及び育友会の皆様
保護者の皆様へ

香芝市PTA協議会会長 赤羽根 武
香芝市幼小中学校PTA・育友会会長一同

新型コロナウイルス等感染症拡大防止と御協力をお願い

平素は日頃よりPTA活動にご尽力賜り、御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。
香芝市PTA協議会を代表しまして、厚く御礼申し上げます。

現況誰もが予想できないこの新型コロナウイルス感染症の再拡大という事態に直面し、日常生活から仕事まであらゆる場面において苦難を経験されていることと存じます。

この香芝市内に於いても感染防止に日々奮闘し、手洗い消毒等率先して感染予防に対応していただいていることと思っておりますが、未だ感染が衰えることなく日に日に増加している状況であります。

2020年12月2日現在で、この香芝市内に於いては77名（人口79,295人に対し約0.1%）の感染者が出ております。数値的には低く感じ取れますが、寒くなるにつれ今後圧倒的に増えていくのではないかと懸念しております。

（感染者数、香芝市HP感染者情報<http://www.city.kashiba.lg.jp/0000012465.html>）

また、この香芝市内に於いても残念ながら感染してしまった方へ対する『コロナ差別』や『コロナいじめ』ともいえる社会を分断させるような行動が報告されており、社会的問題にもなってきております。このような差別等うけた方はその後どのような気持ちでおられるか、ご存知の方もおられると思います。

今件について皆様にお願ひできる立場ではございませんが、保護者の代表としてお願いさせていただきます。

案件

一、感染対策は今以上に注意お願いいたします。

政府及び各自治体からもあるように、マスクの着用、手洗い・うがい、消毒等大変ではありますが感染防止に向け共に頑張ってください。

二、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷的な行動はしないようにお願いいたします。

再拡大により誰もが感染する可能性があることから、感染してしまった児童や教職員、学校側の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防いでいく行動こそが大切なのではないかと思います。

感染してしまった方への『個人や学校を特定して非難する』『家族やその職場の人、医療従事者やその家族等に対しても、感染しているのではないかなどの悪口を言う』など、自分が差別等を行うのではなく、そのような差別につながるような発言や行動が見受けられた時は同調せず「それは違います」「そう言う言い方はやめましょう」など、少しでも声をあげていただければ幸いです。

教育現場もかなり緊迫しており、感染対策も今以上に【明日はわが身】との思いで消毒作業等、子どもたちの為に念入りに行っている状況です。この2週間がもっとも厳しい状況であると報道でもあるように皆様の御協力無くしては解決できない案件でもあります。

人を傷つける行動ではなく、人を守れる行動に繋がるよう、感染症に対して【正しく恐れる】を重々理解し、共に打破出来るよう頑張ってください。

大変恐縮ではございますが、何卒協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【奈良県のHPより↓】

「ならこころのホットライン」

新型コロナウイルス感染症の影響で心に不安や悩みを抱えている方の相談にも対応できるよう拡充しました。

ひとりで悩まずお電話ください。(匿名可)



- 外出するのが不安…
- 生活環境の変化等でストレスを抱えている…
- ずっと家にいて息が詰まる…
- 先のことを考えると気分が落ち込む…

時間帯により下記の電話番号へご相談ください。

「ならこころのホットライン」

平日昼間: 9時～16時 **0744-46-5563**
奈良県精神保健福祉センターが実施

「ならこころのホットライン」 withコロナ

平日夜間: 16時～20時
土日祝日: 9時～20時 **0742-81-8527**
※いずれも受付19時半まで
(一社) 奈良県臨床心理士会に委託

